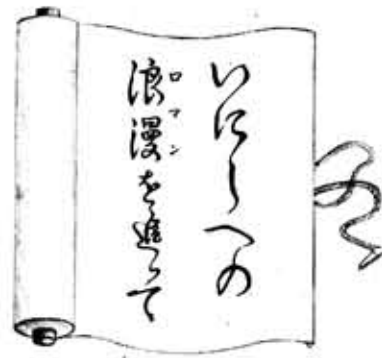


# 住民票等の諸証 市民会館ホール・会議室

表2 市民会館新使用料 ( )内は改正前使用料

施設名	使用区分 使用時間	午前	午後	夜間	昼間
		午前9時 ~正午	午後1時 ~午後5時	午後5時30分~ 午後9時30分	午前9時 ~午後5時
ホール	平日	12,150 (11,250)	16,200 (15,000)	19,570 (18,000)	22,680 (21,000)
	日曜・祝日	13,500 (13,500)	18,000 (18,000)	21,750 (21,750)	25,500 (25,500)
会議室1	平日	3,510 (3,300)	4,720 (4,350)	5,530 (5,250)	6,580 (6,000)
	日曜・祝日	3,900 (3,900)	5,250 (5,250)	6,150 (6,150)	7,200 (7,200)
会議室2	平日	1,370 (900)	1,740 (1,200)	2,140 (1,420)	2,480 (1,650)
	日曜・祝日	1,530 (1,050)	1,940 (1,420)	2,380 (1,720)	2,770 (2,020)
会議室3	平日	640 (520)	810 (750)	1,000 (820)	1,160 (970)
	日曜・祝日	720 (670)	910 (820)	1,120 (1,050)	1,300 (1,200)
会議室4	平日	550 (450)	710 (600)	870 (750)	1,000 (820)
	日曜・祝日	620 (520)	790 (750)	970 (970)	1,120 (1,100)
会議室5	平日	270 (220)	330 (300)	400 (370)	480 (450)
	日曜・祝日	300 (300)	370 (370)	450 (450)	530 (520)
調理実習室	平日	2,130 (960)	2,680 (1,260)	3,280 (1,510)	3,840 (1,720)
	日曜・祝日	2,370 (1,090)	2,980 (1,510)	3,650 (1,800)	4,280 (2,140)



市史編さん活動日誌から ⑬

寺戸から大原野へ抜ける道の北側に、近年まで宝菩提院という古びた寺が残っていた。いまは荒廃して住宅地となっていたが、そこに安置されていた菩薩半跏像をはじめとする仏像類は、桜の名所として知られる勝持寺(花の寺)の境内に移されている。

宝菩提院はもと願徳寺といわれた天台寺院で、境内から奈良時代の古瓦を出土するところから、すでに平安遷都以前から建てていたことになる。おそらく向日市内で

## 宝菩提院菩薩半跏像のことども

毛利久 (奈良大学教授)



宝菩提院(本尊)国宝菩薩半跏像 (伝如意輪観音菩薩)(花の寺蔵)

随一の古刹であろう。この寺の名を高からしめているのは、本尊の菩薩半跏像である。右足を踏上げた姿からいえば、当初は三尊の脇侍像であったとされる可能性が大きい。案地のままの檜材一本造で、両眼の瞳に黒石をはめこんでいるので面相にはなまなましい精気をたたえる。さらに、頭髮の巻き方や衣文の反転などにも装飾

的な複雑さをあらわすがそれら刀法の処理はきわめて鋭く巧みである。平安時代初期には、香木の白檀を使って入念に彫刻した小形の仏像が流行し、それを複製と称した。しかし、白檀は高価な大陸からの輸入材であるので、日本国内で簡単に入手できるものではなかった。そのため、精緻な刻みに特色を残した代用像がえつくりられるようになり、それらには檜や榿(かや)などの彫刻しやすい国産の木材を使用し、また像形も必ずしも小さいものに限られな

かった。この菩薩半跏像もまさしくそのような類に入れるべきものであり、平安初期彫刻の一面を代表するすぐれた作品といつてよい。京都府下でも数少ない彫刻の国宝に指定されているのも肯かされる。ただ、向日市史を書くもの

の立場からすれば、現在の宝菩提院が京都市西京区へ移転しているの、この霊像の所在を向日市内であるといえないのは残念に思われる。文化財は、やはりそのものにふさわしい歴史的環境のなかで護られて行くのが望ましいところであろう。

## 築いて

的役割を果たすものとして、「備作平民会」が結成され、翌十六年には全国的組織として、「大日本同胞連合会」が結成されました。これらの運動は、同和地区の人たちの自覚を高め、自主独立の基礎を固め、社会に

## 上植野防犯モデル地区の成果あがる

上植野地区は、これまであき集やオートバイ盗などの盗犯が多発していましたが、昭和55年度の一年間向日町警察署指定による「防犯モデル地区」として民警一体となって各種防犯活動を積極的に進めました。

## 納付は今月中に

### 55年度の国民年金保険料

4月は、国民年金保険料の最終納期です。昭和55年度(昭和55年4月分)56年度(昭和56年4月分)56年度(昭和56年4月分)の納め忘れは、今月中に納めてください。忘れのないよう十分気を付けてください。

## 56年度国民年金保険料 4月分から改正

昭和56年4月分から、国民年金保険料が、表1のように改正されます。昭和56年度の国民年金保険料を、4月中に全額納入されますと、表2のとおり割引されます。

	改正前	改正後
定額保険料	3,770円	4,500円
付加保険料	4,170円	4,900円

	年額	前納の場合
定額保険料	54,000円	52,700円
付加保険料	58,800円	57,380円

第1期	第2期	第3期	第4期
(4~6月分)	(7~9月分)	(10~12月分)	(1~3月分)
5月末日	8月末日	11月末日	2月末日

(注)前納による口座振替日は4月末日です。

	前	納	期別(1期分)
定額保険料	52,700円	13,500円	
付加保険料	57,380円	14,700円	



物集女郵便局開局  
さる3月7日、物集女町出口に、物集女郵便局(小野塚夫局長)が、オープンしました。

## 計量器の定期検査を実施

市では、業務用(取り引きや証明)に使われている計量器の定期検査を行います。商店や病院、薬局、学校、農家などで該当する計量器を使っておられる方は、必ず検査を受けてください。もし、検査も受けず、合格証のはっていないものを使用されると、計量法違反で罰せられます。

▷とき 4月15日(水)~17日(金)  
いずれも午前10時~午後3時

▷ところ 市役所玄関前  
検査には、手数料と印鑑が必要です。手数料は、はかりの種類によって異なります。

【お問い合わせ】 市民安全課消費生活係 内線235

日	時	間	場	所
4月7日(火)	午前9時30分~11時30分			向陽保険所
	午後1時30分~3時30分			物集女公民館
4月8日(水)	午前9時30分~11時30分			寺戸公民館
	午後1時30分~3時30分			鶴冠井事務所
4月9日(木)	午前9時30分~11時30分			西向日事務所
	午後1時30分~3時30分			寺戸公民館
4月10日(金)	午前9時30分~11時30分			上植野事務所
	午後1時30分~3時30分			向日市役所

## 犬の登録と狂犬病予防注射

昭和56年度、犬の登録と狂犬病予防注射を左表の日程で行います。

◇手数料 注射料1,300円 注射済票 300円  
登録料2,000円 合計 3,600円

※お願い

◎犬の登録カードを、当日必ず会場に持参してください。

◎会場では、獣医師に従い、注射がしやすいよう、ご協力ください。

## 灯油

市内の灯油生活モータ油価格調査調査結果に比べ18%配送料込みです。店頭平均安値1,300円、1,468円、※灯油に235まで